

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮・貝毒プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウムポリクリコイデスが最大で 16細胞/mL 確認されました。今後、海色等には十分注意し、給餌などの作業を行ってください。また、魚類を弱らせるおそれがあるディクチオカ フィビュラが最大で 4 細胞/mL、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム カテナータムが最大で 26 /mL 確認されました。

※（本日は、海水 1mL でプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (9:00~10:00) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存 酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ディクチオカ フィビュラ	ギムノディニウム カテナータム
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*2	*3
片島出荷場 下図①	5	-	-	-	0	4	0
シラハエ 下図②	0	19.3	17.0	8.12	0	0	26
	5	21.3	33.0	6.97	0	0	0
	10	21.4	33.4	6.95	0	0	0
ヒロウラ 下図③ 透明度:1.0m	0	17.5	2.4	9.44	16	0	0
	5	21.5	33.7	6.84	0	1	0
	10	21.7	33.8	6.82	0	0	0
猩々礮 下図④ 透明度:0.5m	0	17.6	3.5	9.73	0	0	0
	5	21.3	33.5	6.57	4	0	0
	10	21.4	33.7	6.47	0	2	0
栄喜 下図⑤	10	-	-	-	0	0	1
青瀬山 下図⑥	10	-	-	-	0	0	11

\*1：魚類を死滅させるおそれがある種 (細胞/mL)

\*2：魚類を弱らせるおそれがある種、\*3：麻痺性貝毒の原因種

※魚類を死滅させるおそれがある種の注意報及び警報値

	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	香川県

〈下図〉

